

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
【部門区分】第 7 部門第 2 区分
【発行日】令和 6 年 4 月 2 日(2024.4.2)

【公開番号】特開 2024-40302(P2024-40302A)
【公開日】令和 6 年 3 月 25 日(2024.3.25)
【年通号数】公開公報(特許)2024-054
【出願番号】特願 2024-17225(P2024-17225)
【国際特許分類】

H 0 1 L 2 1 / 6 8 3 (2 0 0 6 . 0 1)

10

【 F I 】

H 0 1 L 2 1 / 6 8 R

【手続補正書】
【提出日】令和 6 年 3 月 25 日(2024.3.25)
【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】

20

【特許請求の範囲】
【請求項 1】

試料保持面である第 1 面および前記第 1 面とは反対側の第 2 面とを有し、厚さ方向に貫通するガス孔が形成された板状の基体と、
前記第 2 面に対向する第 3 面および前記第 3 面とは反対側の第 4 面とを有し、該第 3 面は、前記第 2 面に対向しており、前記ガス孔に連通する貫通孔を有する支持体と、

前記貫通孔の内部に配設された多孔質部材であって、少なくとも 1 つの緻密層を含み、前記少なくとも 1 つの緻密層は前記多孔質部材の他の部分よりも緻密である多孔質部材と、を備え、

前記多孔質部材は、前記支持体の前記第 3 面側に位置する第 5 面と前記第 5 面とは反対側の第 6 面および外周面を有しており、該外周面は、前記貫通孔の内周面に接しており、前記少なくとも 1 つの緻密層を、複数有する、試料保持具。

30

【請求項 2】

前記多孔質部材の他の部分は、前記少なくとも 1 つの緻密層によって複数の領域に分画されている、請求項 1 に記載の試料保持具。

【請求項 3】

前記少なくとも 1 つの緻密層は、前記外周面に位置している、請求項 1 または請求項 2 に記載の試料保持具。

【請求項 4】

前記少なくとも 1 つの緻密層は、前記第 5 面および前記第 6 面に位置する、請求項 1 ~ 3 のいずれかに記載の試料保持具。

40

【請求項 5】

前記第 5 面上の前記少なくとも 1 つの緻密層の幅は、前記多孔質部材の他の部分よりも小さい、請求項 1 ~ 4 のいずれかに記載の試料保持具。

【請求項 6】

前記第 3 面は、接合材を介して、前記基体の前記第 2 面に接合されており、
平面透視にて、前記接合材は、前記貫通孔の前記外周面よりも前記ガス孔に延びている請求項 1 ~ 5 のいずれかに記載の試料保持具。

【請求項 7】

前記接合材は、前記貫通孔の内周面と前記多孔質部材との間に位置する、請求項 6 に記載

50

の試料保持具。

【請求項 8】

複数有している前記少なくとも 1 つの緻密層の厚さは、互いに異なっている、請求項 1 ~ 7 のいずれかに記載の試料保持具。

【請求項 9】

前記多孔質部材の前記第 5 面は前記支持体の前記第 3 面よりも下方に位置している請求項 1 ~ 8 のいずれかに記載の試料保持具。

【請求項 10】

前記基体の前記第 2 面には下方に開口する凹部が形成され、前記多孔質部材が、前記貫通孔の内部から該凹部の内部にかけて位置しており、

10

前記多孔質部材の第 5 面は、前記支持体の第 3 面よりも上方に位置している、請求項 1 ~ 8 のいずれかに記載の試料保持具。

【請求項 11】

前記支持体の前記貫通孔内に位置しており、前記貫通孔の軸線方向に沿って延びる円筒状の筒状部材を有する、請求項 1 ~ 10 のいずれかに記載の試料保持具。

20

30

40

50